

【2024 事業報告書 ①】

HKFA審判委員会 女子部

都道府県審判トレセンユース3級審判員研修会に女子ユース審判員も参加！

- 事業名 : 2022年度(公財)北海道サッカー協会 都道府県審判トレセンユース3級審判員研修会②
- 日時 : 2024年3月22日(金)~24日(日)
- 場所 : 伊達市まなびの里サッカー場 伊達温泉
- インストラクター : 平石 暁史 氏(北海道サッカー協会 審判委員会育成部)
初山 智哉 氏(北海道サッカー協会 審判委員会育成部)
鈴木 敏晴 氏(室蘭地区サッカー協会 審判委員会委員長)
山下 浩司 氏(函館地区サッカー協会 審判委員会委員長)
- オブザーバー : 大石かおり 氏(北海道サッカー協会 審判委員会女子部)
一瀬 哲平 氏(2級審判員)
- 参加者 : 10名(うち女子審判員3名)
空知地区ユース3級審判員
北空知地区ユース3級審判員
オホーツク地区ユース3級審判員



5R ~一歩一歩着実に~

参加者のコメント

空知地区ユース3級審判員

この度はユース3級審判員研修会に参加させていただきありがとうございました。今回の研修会を私は『**チャレンジをする場**』だと思い、ポジショニングの位置や、ふだんよく注意されることの多い笛の大きさなどを意識し、審判実技に取り組むことができました。予測して動くことの大切さや審判員同士のチームワークを発揮させるためにも、**情報の得方や伝え方を工夫することでどうすれば試合をスムーズに進められるか**について学ぶことができました。この研修会で得られたことは今後の活動にも活かせることだと思っています。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

北空知地区ユース3級審判員

今回ユース審判研修会を設けていただいたこと、参加させていただきありがとうございました。そして、大会を運営していただいた皆様、試合を提供していただいたチームの皆様にも感謝を伝えたいです。地区を離れてのユース審判研修会への参加は初めてで不安もありましたが、それよりも楽しみという感情が大きかったです。研修では**失敗してもいいから沢山のことに挑戦すること**を目標に取り組みました。実技では沢山の課題が出てとても勉強になることばかりでした。これから**地区での活動で課題に向き合い全国研修に参加できるように向上していきたい**です。この度は本当にありがとうございました。

オホーツク地区ユース3級審判員

今回初めてオホーツク管外から出て、ユース審判の研修会に参加させていただきました。管内と管外の試合の強度が全然違って、レフェリングもすごく難しく、とても勉強になりました。この研修会で同年代のユース審判員のレフェリングを見たり、全国大会に参加したお話を聞かせてもらって、良い経験ができたと感じています。さらに**これから強化しなければならぬ部分や伸ばしていく部分をしっかりと確認することができた**ので、地元のオホーツク地区に戻ったら、学んだことをどんどんチャレンジしていきたいと思います。



地域都道府県向け2023女子W杯報告会

- 日 時 : 2024年3月28日(木) 20:00~21:30
- 登壇者 : 山下良美氏、坊蘭真琴氏、手代木直美氏 (zoom)
- 参加者 : 阿部美季・平木柚香 (2級審判員)
空知地区ユース審判員・オホーツク地区ユース審判員 (3級審判員)

■参加者のコメント

阿部 美季(2級審判員)

まずは山下さん、坊蘭さん、手代木さんから直接お話を聞く機会を頂きありがとうございました。ワールドカップ中のトレーニングや試合の時のエピソードなどを聞くことが出来て、**世界レベルのすごさや求められていること、他国の方々の関わりなどを深く知ることが出来ました。**また、1問1答などお三方からそれぞれ回答を頂き、同じ部分や違うところなども具体的に聞くことができとても参考になりました。

私も審判をやる中で、難しさや失敗してしまうこと、やりたくないと思うことなどネガティブな感情を持つこともありますが、**皆さん同じ気持ちを持つこともあるけれど、前向きに捉えて取り組まれている**と知ることが出来ました。トレーニングのレベルも男子と同様のものを行なっていて本当にすごいなと思いました。

私も参考にさせてもらいながら、**少しずつでもできることに取り組んで頑張っていきたい**と思います。ありがとうございました。

北海道女子サッカーリーグ 開幕!

■担当審判員のコメント

土屋 花(2級審判員)

今年度も無事に女子の道リーグが開催できたこと大変うれしく思います。大会関係者の方々、同じピッチで試合を行う選手、スタッフの方々に対して感謝申し上げます。私自身にとって今年は主審としてのスタートとなり、**緊張とともにこれから起こる多くの試合に関わらせていただけることの嬉しさを感じます。**同じ審判員の方と協力し、一つ一つの試合の重要性を常に考え、**何よりも選手の方々が楽しんでいただけるような試合を一緒に作っていきたい**と思います。

秋山 心音(2級審判員)

昨年度思うように活動が出来ず、約1年ぶりの稼働でした。久々にお会いした方々も普段と変わらず、暖かく迎え入れて下さり、非常に良い形で道リーグ開幕、そして自分自身の審判活動も本格的に再開することができたこと大変嬉しく思うとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。昨年度、**自身の課題であった「試合に向けての準備」の面では、心身共にいい準備ができた**と思います。また、開幕戦での選手、そして他の女性審判員の姿をみて刺激を受けた場面が多々ありました。この1年間を通して、**みなさんと共に成長できるよう努めていきます。**

